



### トキが結んだ縁 黒部市と「友好の証」交流

7月5日、富山県黒部市から舞踊愛好グループ「黒部トキメキ軍団」が佐渡市を訪れ、市役所前でトキをイメージした「黒部トキメキ音頭」が披露されました。佐渡市と黒部市は、放鳥したトキが黒部市にすみ着いていることを縁に、市民同士の友好関係を築いたり、トキが暮らしやすい環境づくりにお互い努力していこうと、今年5月に「友好の証（あかし）」を結んでいます。今後は佐渡市から黒部市への訪問が計画されるなど、市民の交流がますます深まりそうです。



黒部トキメキ軍団の皆さん



「友好の証」署名後に握手を交わす  
堀内黒部市長（右）と高野市長（左）  
（5月19日）

### 快挙！ 剣道七段に3名が合格

今年5月に名古屋市で開催された剣道七段審査会において、佐渡から澤見幸夫さん（羽吉）、岩原勇吉さん（上横山）、菊池忠彦さん（椎泊）の3名が合格しました。その祝賀会が7月3日、両津地内のホテルで開催され、島内外から計52名の剣道関係者が出席しました。来賓の剣道教士八段佐藤伸さん（新潟市）は、「次は剣道最高段位の八段を目指して欲しい。」と激励しました。佐渡からの剣道七段合格者は、平成5年に1名が合格しているのみで、それ以来の快挙となります。今後は、県内外で活躍する多くの剣道高段者との交流が予想され、佐渡剣道界の活性化と剣道技術レベルの向上が期待されています。



祝賀会前に開催された稽古会にて  
岩原さん（前列左から2人目）、澤見さん（前列左から3人目）、  
菊池さん（前列右から2人目）

### かぶと虫に大興奮

畑野区民会では、市の「地域まちおこしモデル事業」で、市民のいこいの場としての里山づくりに取り組んでいます。その取り組みのひとつとして、子どもたちが自然とふれあいながら遊べる里山にしようと、「かぶと虫の家」をつくり、かぶと虫の繁殖・飼育を行っています。7月15日、畑野保育園の園児たちが「かぶと虫の家」を訪問。たくさんのかぶと虫に目を輝かせながら喜んでいました。



### 高齢者のための交通安全教室

7月1日、佐渡西警察署では、高齢者による交通事故が増えているため、県警の「かがやき号」を呼んで、高齢者のための交通安全教室を実施しました。

「かがやき号」は擬似運転のできる装置が搭載されており、年齢相応の判断力の低下等が体験でわかるようになっています。この日参加した高齢者は女性10名、男性14名で擬似体験は2名ずつしかできないため、順番を待つ間、松苗交通課長による講話を聞いていました。体験した人たちは、「こんなに判断力が鈍っているとは思わなかった。これからは十分気をつけて運転したい。」と感想を語っていました。

